

実践記録

学校/学年	中学校 / 1 年	
教科等・単元名	学級活動：著作権について学ぼう	
キーワード	著作権	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c4: 社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立っていることを知る
	中目標項目番号 中目標項目内容	c4-2: 情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	H P を作成するときなど、絵や写真など簡単にできてしまうコピー＆ペーストには著作権を侵害してしまうことを知り、著作権について学ぶ	
使用教材	教材名	コピーライトワールド
	製作者	社会法人著作権情報センター
	入手先(U R L 等)	http://www.kidscric.com

展開

	学習活動	指導 評価
導 入	1. スクリーンに映された H P を見て、問題があることについて思ったことを発言する	・自分の好きな絵や詩、アニメのキャラクターを載せることに問題がないか問いかけ、著作権について考えさせる
展 開	2. コピーライトワールドの H P にある C R I C 式自己診断テストで自分が著作権についてどれだけ知っているか調べる 3. コピーライトワールドの H P にあるコピーライト道場で著作権について学ぶ	・CRIC 式自己診断テストの結果を学習カードに記入させる ・コピーライト道場では、初級 中級 上級とレベルを上げ、その中で知らなかったことを学習カードに記入させる
お わ り	4. もう一度 CRIC 式自己診断テストを受けて著作権について学べたか確認する 5. これからどんなことに注意しなければならないのか学習カードに書き、発表する	・CRIC 式自己診断テストの結果を学習カードに記入させる 一回目よりもテストの結果が上がっているか(カード) 著作権を侵害しないために注意しなければならないことが書けたか(カード)

授業の実際

- ・著作権について学ぶコピーライト道場は初級、中級、上級と分かれているのでわかりやすく、生徒は意欲的に取り組んでいた。

授業の成果

- ・著作権について、作品を作った人の権利や、自分の作ったものを勝手に人に使わせないなどの知識を持っている生徒もいたが、具体的にどんなことをすると著作権を侵害してしまうのか知らない生徒が多かったが、学習カードにまとめを書いたところで「むやみに絵や写真をコピーして、HP に載せてはいけないことがわかった」などの感想が多くみられた
- ・コピーライト道場で著作権について学んだ後に行った CRIC 式自己診断テストでは、結果が一回目に比べてよくなっている生徒が多くみられた

指導のポイント・留意点

- ・パソコンや携帯電話で、音楽や映像を違法にダウンロードしてしまうことは著作権侵害になることや、音楽 C D などをコピーして友達に配ることも著作権侵害になることを指導していきたい